

発 行  
福井県大野市天神町1番1号  
大 野 市 役 所  
電 話 (代) 6-1111  
郵 便 番 号 9 1 2  
印 刷 松 浦 印 刷 所



12月の人口の動き

出生 男 28 女 31 計 59  
死亡 " 11 " 16 " 27  
転入 " 45 " 51 " 96  
転出 " 49 " 52 " 101  
世帯数10,124(前月- 4)  
人 口42,593(前月+ 26)  
男 20,488 女 22,105

# 自覚と夢を新たに

## 660人がおとなの門出

成人の日の1月15日、新しく成人された660人(男324人、女336人)のみなさんを市民会館に招き、成人式を行ないました。成人式では式典や記念行事が行なわれ、おとなへの門出を祝福しました。どの顔もチョッピリ緊張、そして、喜びにあふれ、人それぞれに社会人としての自覚と将来の夢をいだいていたようでした



式には520人の新成人が出席。この日は連休であったため、県外に就職した人や学生ら45人も帰郷、式にのぞみました。

式典では、市長の式辞、議長の前辞に続き、松井秀子さん(阿難祖地頭方)ら137人に大野保健所長から健康証明書が渡され、成人感想文入賞者の表彰がありました。

その後、南川三郎君(養道)ら各地区代表の発声に合わせて全員が誓いのことばを朗読、「私達は言動に責任を持ち、権利を行使し、義務を履行します……」と、成人としての自覚を持ち理想社会の建設に努力することを誓い合いました。

市長も式辞の中で「マイホーム主義に埋没することなく、新しい社会参加のない手になっていただくよう……」と、社会人としての自覚をうながしました。

式典のあと、これまでの記念講演にかわって、「20代をどう生きるか」をテーマ

### 成人感想文入賞者

成人感想文の入賞者は次のみなさんです。応募数は23点。

<入選> 高山敏幸(春日3丁目、会社員)、石川容子(荒子町、保母)、山田武司(下五条方、学生)。

<佳作> 大森美鶴子(木ノ本領家、会社員)、中村範子(大門、公務員)、松井登代子(本町4区、美容師)。

にしたシンポジウム、記念撮影や成人感想文の発表、また、合唱やダンスなど好みに応じたいこいのひとときもあり、

若いエネルギーを発散させていました。(写真は、理想の男性は?と会場にもマイクを向け、意見を聞くシンポジウム)

## 基本構想を提案

### 第136回臨時市議会開く

第136回臨時市議会は1月16日、会期1日間で開かれ、上程された4議案のうち2議案を原案どおり可決、2議案を継続審査としました。

可決されたのは、大門地区圓場整備事業の実施による字区域の一部変更、聖和園・和光園にはいつている人のうち、国民健康保険税を納められない人を被保険者(加入者)としない同保険条例の一部改正の2議案です。

### ○…決算は特別委員会で審査

昭和46年度大野市一般会計および特別会計の歳入歳出決算は、決算審査特別委員会をつくって、審査することになりました。

46年度一般会計の決算額は、歳入17億7,042万5,000円、歳出18億1,522万円で、3,109万5,000円の赤字。予算に対する比率は、歳入96.4%、歳出98.1%。

同じく7つの特別会計の決算額は、歳入3億8,725万3,000円、歳出3億7,150万6,000円。予算に対する比率は、歳入101.5%、歳出97.3%。両会計ともほぼ計画

どおり仕事が進みました。

これらの内容は47年9月1日発行の財政公表でお知らせしてあります。

### ○…市の基本構想は

#### 総務委員会で慎重に検討

「大野市の基本構想を定めることについて」の議案は、市の発展方向を決める重要な案件であるため、総務委員会で慎重に審議を重ねることになりました。

基本構想は、市の将来の都市像とそれを実現していく施策のあらましを定めるもので、これによって総合的、計画的に事業などを進めていくのがねらいです。

この構想(案)では、昭和60年を目標におき、恵まれた自然環境など大野の特徴を生かし、外から見た市の位置、役割をふまえて、人間と自然の調和のとれた近代的な都市づくりを目指しています。

発展の方向は ①住みよい明るい文化都市の建設 ②働きやすい豊かな産業都市の建設 ③魅力ある新しい中核都市の建設——が柱で、これをもとに人口と世帯、産業経済、市民生活の将来指標を示し、そのための施策の大綱をあげています。

## 成人感想文入選作品

## 成人になって

春日3丁目 高山 敏 幸



私は北陸電力株式会社に勤務する一会社員であり、また夜は大野高等学校定時制2年在学中の学生でもあります。人から見ると、いい年をしてと思われるかもしれませんが、私は平気です。

自分がもし今後、進むのならこの道をおいて他にないと考えたからです。この世は実力だ、などと最近よく言われますが、最終的には、学力が大切ながこの世の現実ではないでしょうか。私は晩の暇な時間をボーリングや、喫茶店へ行きむだに費やすよりも、少しでも自分の将来においてきっと何らかの意味で役に立ち やがて自分の血や肉になってくれるであろう学校を選びました。

現在私の学ぶクラスは16人という少人数の家族的なクラスです。同級生たちは16・7才、いわば私にとっては弟や妹のようなものですが、どの人も私にとってはみなよい最高のクラスメートたちです。始めはてれくささと不安の連続であった学校生活も、最近ではようやくなれ、働きながら学ぶ友も多くできました。それぞれにおいて働きながら学び将来に大きな希望と夢をもち、働く喜びを知っている友達の話しを聞き、自分の考えを話す時、ほんとうにこの道を選んでよかったと強く感じるとともに、これから先どんなにつらくとも卒業という終着駅に無事ゴールインする日まで、絶対にかんばりたいと強く感じる私です。人とちょっと変わった私の、新しく自分で作るこれからの道を、私は胸をはり勇気と根情を出してりっぱに進んで行きたいと思えます

今こうして成人式をむかえて字で書けばたった二字の簡単なような「成人」の意味を深く考えてみますと、私の前に大きな喜びと、大人になる少しの不安がのしかかってくるのははっきり感じます。

この世に生を受けて、はや20年、幼稚園・小学校・中学校と無事に終わり、北陸電力という会社にも就職でき一生の職も獲得できました。この人生の1/3を私は今、無事歩き終えたのです。父や母の大

きな愛の翼の中で、何ん自由なく過ごし健康で現在を迎えることができた私は、まず何よりも、父や母にほんとうにありがとうと、大声で言いたい気持ちでいっぱいです。父や母の今までの苦勞に報いるためにも、私は決していいかげんな人間になってはならないと強く感じ、堅く決意したいと思います。

それにはまず私の一生をかける仕事についてもう一度考えねばならないと思えます。私の仕事は北陸電力という、電気を地域社会の各需要家に送り届けるのを役目とする企業であります。入社以来3年になり、会社組織というものにも徐々になじんできた私であります。まだまだ上を向くときりのない私の仕事に不安と失望を感じます。でも、不安だからと言ってしりごみするような人間では、いまからのこのきびしい世を、どうして一人で渡っていくのだ！もっと勇気を出し自分というものに自信を持って、と自分自身に言いかけさせて励みにし、毎日を自分なりに精一杯かんばっています。

成人という晴れの門をくぐる今年から私はりっぱな一社会人とし、また一会社員として恥ずかしくない行動と責任を持

ち、私の天職である電気技術者という仕事を、欲ばらず一段一段階段を上るがごとく進みたい。人それぞれ生まれながらにして決められた道で、自分の力のある限りかんばりたい。そしてその事が少しでも世のため人のためとなり、人に喜んでもらえる人間をめざしたいと思う。社会の、会社の一つの歯車として、たとえ小さくとも重要な地位を守る人間になり人から尊敬される人間でありたい。

自分という人間がこの世に生きていたという足跡を少しでも多くこの世に残しやがて私にも家庭ができて子供ができた胸をはって自分の青春時代を、いや自分の送ってきた一生を語れる人間でありたいと思う。二度と帰らぬこの日この時、我青春時代をただ何することもなく、むだで損な時を一刻も送ることがないように心掛け、どんな小さな事も吸収すべきものは素直にとり入れ、一日一日が自分にとって少しでも向上したと思われ、自分で満足のおける日々を一日も多くなつていきたい。本日を区切りにし自分自身の足で一歩一歩踏みしめながら、この長くけわしい人生という折れ曲った道を自分なりに考えながら、また大きな壁にぶつかったら、先輩・友達・両親の意見を聞きながら進んでいこうと思う。

最後に一度しかない私の人生を後悔の残る事のないように進み、本日から大人としての自覚と責任をもって新しく元気に行動していきたい。



47

きん どう  
琴 洞 橋

琴洞橋は仏原ダムの上で九頭竜川にかかる橋で最初ここに架橋した尾崎弥右エ門琴洞の名をとったものです。

当時県会議員だった琴洞は、明治20年美濃道改修について県の決議をとり、地元民の先頭に立って努力した結果、明治23年6月下唯野・下山間約15kmの道路改修を完成させたのです。



九頭竜川に橋をかける問題は調査にまでどり、予算も使用してしまったので、琴洞は経費は自分で出そうと決意しました。天然の地形地質に恵まれた

仏原地籍を選定して工事を進め、新式の学理を応用した木橋が完成、明治30年11月に開通式が行なわれました。

ダム建設のため、もとの琴洞橋は湖底に沈みましたが、尾崎琴洞の名はこの橋のあらん限り永久に人々の心の底に残ること

でしょう。

(写真は昭和42年1月の新旧琴洞橋)

# あなたが決める税額

## 市・県民税の申告は3月15日まで

市・県民税の申告時期がやってきました。近く申告用紙をお届けし、右表の日程によって受付を行ないます。

申告期限は3月15日ですが、できるだけこの日程によって申告して下さるようお願いいたします。

申告されないと、医療費・生命保険料など各種の控除が認められず納税者のみなさんに不利になることがあります。

### ○…申告に必要なもの

①申告用紙 ②印鑑 ③生年月日のわかるもの(保険証など)

④47年中に支払われた生命保険料の領収書(一口9,000円以上、それ以下は支払額を確認できるもの)

⑤農業者年金、心身障害者扶養共済の加入者は、その掛金の領収書。

### ○…申告しなくてもよい人

①所得税の確定申告をされる人

②48年1月1日現在、給与の支払いを受けている人で、給与以外の所得のない人。

## 市・県民税申告日程(予定)

月・日	場 所	月・日	場 所
2. 28	乾 側 公 民 館	3. 7	中村町据道場
"	下 庄 公 民 館	"	中 休 公 民 館
3. 1	"	8	富 田 公 民 館
"	庄 林 公 民 館	"	農 協 富 田 支 所
2	六 呂 師 公 民 館	9	阪 谷 公 民 館
"	小 山 公 民 館	"	農 協 阪 谷 支 所
5	上 庄 公 民 館	12	市 役 所 大 会 議 室
6	"	15	

- ・時間は午前9時から午後4時まで
- ・町内・区ごとの日程の明細は、後日回覧でお知らせします。
- ・3月9日までは、税務課職員が各地区に出向きますので、市役所での申告はさけてください。

## 奥越の珍味を県外に

### 特殊林産物生産組合

### 山菜の加工を始める

大野特殊林産物生産組合(組合員123人)は、ゼンマイ・ワラビ・山ウドなどの山菜を加工、奥越の珍味として県内はもとより名古屋・大阪方面にも売り出すことになりました。



林業構造改善事業の一つとして、同組合が南春日野で建設していた特殊林産物生産加工場が完成、1月8日から操業を始めました。「ふるさとの味」が重宝がられている時代だけに、この事業の発展が期待されています。

建物は鉄骨平屋建てスレートぶき、面積は323平方メートル。中には貯蔵庫や殺菌ガマ・ボイラー・真空包装機・自動カッターなどの施設、機械も整っています。

47年度は、昨年とって保存しておいた山ウド・シイタケ・フキ・ワラビ・ナメタケなど8種類約14トンの山菜を、それぞれ独特の味つけをして、ビン詰めや袋詰めに加工、出荷します。値段は6本セットで1,500円など。

ことしは、これらの山菜約30トンを加工、約1,500万円の売り上げを目標にしており、49年度は50トンに伸ばす計画です。

市消防本部はこのほど、昭和47年の火災救急統計をまとめ発表しました。

それによると、火災は、出火件数17件、損害額371万円、建物焼失面積412平方メートル、死者1人、傷者2人。5年ぶりに死者がでたのは残念ですが、損害額、焼失面積は、前年に比べ大きく減少しました。一方、救急業務は、出動件数210件、うち救急件数169件、搬送人員178人で、昭和39年の救急業務開始以来、初めて減少しました。

### ○…火災統計

出火件数は、建物16件、林野1件、計17件。前年と同件数ですが、過去10カ年の平均23件に対し、6件の減少です。

損害見積額は371万円。前年の1,023万円に比べると、64%の減少でした。

建物焼失面積は412.7平方メートルで、前年の828平方メートルの49%、過去10カ年平均1,515平方メートルの27%に減少。

出火原因は、火遊びが4件でもっとも多く、ガスこんろ3件、たばこ2件、煙道・煙突2件などと続きます。過去10カ年の統計でも第1位は火遊びの27件、たばこ20件、たき火18件が上位を占めます。

市消防本部は、火遊びが出火原因の第1位であることから、今後は学校での防

火教育と、親子ともどもの防火体づくりを中心に重点を置き、火災予防に努力したいといっています。

### ○…救急統計

救急件数169件の内訳は、交通事故がトップで69件(41%)、次いで急病の47件(28%)、以下一般負傷24件(14%)、労働災害11件(7%)、自損行為7件、運動競技・犯罪各3件、水難1件、その他4件となっています。前年より23件、搬送人員44人も少なかったのは、昨年は暖冬でスキーによる事故が無かったためとみています。

搬送人員178人を傷害別にみると、死亡2人、重傷48人、中傷61人、軽傷67人。

このほか救急車の出動は、日曜日が37件で断然多く、時間的には下校帰宅途中の午後5時から6時までのうちが多くなっており、注意したいものです。

### ○…火事と救急は「119番」

火事や救急事故は、専用電話「119番」へ、少しでも早く通報してください。

47年の統計では、専用電話による通報は、火災が17件のうち4件(24%)、救急が169件のうち119件(70%)しかありません。

## 出火原因の一位は火遊び

### 昨年の火災・救急統計

# 国民年金 受給者は現況届を

## 老齢年金は2月15日まで

国民年金を受けている人が、引き続き年金を受けるためには、毎年「国民年金受給権者現況届」を提出するように決まっています。提出されないとその届があるまで年金の支払いが一時止まりますから、次のとおり提出してください。

老齢福祉年金など各福祉年金の受給者は、この現況届を出す必要がありません。

### ◇…現況届の提出期限

①老齢年金・通算老齢年金を受けている人は、2月15日までに。

②障害年金・母子年金などを受けている人は3月末日までに。

ただし、47年2月16日以後、年金を受

けられることになった人は、ことしに限り提出の必要がありません。

### ◇…届出の方法

社会保険庁から直送されてきた用紙(はがき)に、住所・氏名を書き、印鑑を押し市役所の証明を受けてください。

それに10円切手をはり、2月15日までに同庁業務課あてに送ります。

障害年金・母子年金などを受けている人は社会保険事務所から送られてきます現況届を、市役所に出してください。

そのほか、用紙が届かないとき、年金証書をなくしたときなどは、市役所市民課でご相談ください。

## 年金の支払月が変更

保険料を掛け終って支給される拠出制国民年金の支払いは、これまで2・5・8・11月でしたが、48年からは3・6・9・12月(老齢年金は11月)に変わります。

なお、通算老齢年金は6月と12月に、また福祉年金は1・5・9月に支払われ、これまでと変わりません。

## お知らせ

### ■…12月までの老人医療助成金

#### まだの方は2月中に手続きを

老人医療費の助成を受けていた人で、昨年12月末までに診療を受け、個人負担分を医療機関の窓口を支払ったが、まだ助成金を受け取っていない方はありませんか。

この方はできるだけ2月末までに、その時の領収書、印鑑、元の受給資格者証(緑色)をもって、市福祉事務所で請求の手続きをしてください。

特に個人負担分をそのつど支払っていた共済保険または組合保険の加入者、また国民健康保険の加入者でも市外の病院などでみてもらった場合、請求もれがあるかと思われます。

## = 人事異動 =

市および市教育委員会は、1月1日付けで次のような人事異動を行ないました  
▷富田公民館長 松田茂男(市民課長補佐)

▷教育委員会庶務課付 石蔵一郎(富田公民館長) ▷同 堀八重(学校教育係長、2月1日付け)

## 冬のゴミ収集は週1回

### 収集日以外は出さないように

1月から3月まで、冬季のゴミ収集は週に1回です。お知らせしてあります町内ごとの収集日のほかは、絶対出さないようお願いします。不注意で出されますと、収集場所付近の方に大変迷惑がかかります。

ゴミの持ち出しには、作業員の身になって、次のことにご協力ください。



①ゴミの水切りと減量を。べたべたのゴミは完全に燃えず、時間がかかります。

②ビニール袋が箱詰めにして、必ずしばってください。車に積むとき、底が抜けるようでは困ります。

③持ち出しは収集日の朝8時までに。夜のうちに出来ますと、犬が食い荒らしたり、雪が積もって集める能率が落ちます。

④祭日に該当した町内は、次回収集とします。

### スマイル

#### 「成人式終る」

こんどいつあえる  
かしら

—晴れ着

お日さま

### コーナ

学校が冬休みにはいるころに北海道伊達市鹿島町二十、原見智子、普原知子さんの両名から次のようなはがきが舞い込んだ。▼「大野市役所のみなさんお元氣ですか。私たちは伊達中学校の二年生です。冬休みも近づき私たちの中学校でもたくさん宿題が出されてウンザリしています。でも一番楽しみなのは自由研究です。そこで何をしようかと考えてみましたが、今ちょうど歴史でお城のことを習ったばかりなので興味もあり、さっそく二人で決めました。大野城の資料を送っていただけませんか。できるだけたくさんください。必ずみなさんの協力で取りっぱなものを作ります。それから資料は着払いで送ってください。ずうずうしいお願いですが、なにごぶん費用がたりないのでお願いします。それから礼状も出せませんがすみません。ではがんばってお仕事をしてください。私たちが一生懸命勉強します。さようなら」(原文のまま)▼中学生の純真さが文面にあふれていて思わず苦笑するところもあるが、できるだけ多くの資料をさつそく集め郷土歴史館から送ってもらった。ただ、お礼状だけぐらいいは書くのが礼儀であることや、伊達市は函館市の近くのので、大野丸や函館戦争との関係も深く、今後何かと連絡し合ってお互い勉強しようとの励ましも忘れなかつた。▼十代の悩みや生きがいの問題を理解することは、学校や家庭のみの問題ではない。彼等を取りまく社会全体がよく理解し、暖かく見守ってやることを忘れてはならないと同時に単なる甘やかしではなく、あくまで真しな態度で、まじめに彼等の素直な芽を育ててやることの必要性を、この一編のはがきから強く教えられたことである。



(M生)